

めまい・耳鳴り・難聴と認知症について

今回は脳神経内科で日本神経学会指導医・専門医の
野元正弘医師に「めまい・耳鳴り・難聴と認知症」
について伺いました。



▲野元 正弘 医師

起こっていると考えられます。私たちの感覚は加齢により低下します。味を感じる味蕾は舌に約1万個あり、その数は加齢で減少し高齢者では幼児期の3分の1になります。子どもの時に苦かったり辛かったりしたものが、大人ではそれほどでもないことはよく感じます。

また、感覚神経の検査で音叉を使う振動覚は10歳代では20秒近くありますが、70歳以上では10秒程度となります。感覚は加齢に伴い低下するので、これを補うために私たちの脳は感度を上げて働いています。そのおかげで高齢になっても会話したり、バランスを取って歩くことができます。

しかし、敏感にした分、少し頭を動かすと揺れを強く感じる「めまい」が起こり、静かになると「耳鳴り」を感じます。手足もじつとしていると「しびれ」を感じやすくなります。

めまい・耳鳴り・難聴は、いずれも耳鼻科で治療している病気で、耳鼻科での診察と治療が大事です。しかし、耳鼻科で異状は無く、脳のMRIでも原因となる所見のない時にもしばしば起こります。また、めまい・耳鳴り・難聴は同時に起こっていることも多い症状です。これは加齢による脳の機能低下のために

また、感覚神経の検査で音叉を使う振動覚は10歳代では20秒近くありますが、70歳以上では10秒程度となります。感覚は加齢に伴い低下するので、これを補うために私たちの脳は感度を上げて働いています。そのおかげで高齢になっても会話したり、バランスを取って歩くことができます。

しかし、敏感にした分、少し頭を動かすと揺れを強く感じる「めまい」が起こり、静かになると「耳鳴り」を感じます。手足もじつとしていると「しびれ」を感じやすくなります。

また、感覚神経の検査で音叉を使う振動覚は10歳代では20秒近くありますが、70歳以上では10秒程度となります。感覚は加齢に伴い低下するので、これを補うために私たちの脳は感度を上げて働いています。そのおかげで高齢になっても会話したり、バランスを取って歩くことができます。

い、聴覚を改善して脳を認知症から守りましょう。



社会福祉法人



済生会今治病院

0898-47-2500

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

今治市喜田村
7丁目1番6号

